



仮想データセンターの管理

この章は、次の項で構成されています。

- [仮想データセンター, 1 ページ](#)
- [VDC アクション, 2 ページ](#)
- [仮想データセンター サービス プロファイル, 8 ページ](#)

仮想データセンター

仮想データセンター (VDC) は、仮想リソース、動作の詳細、ルール、およびポリシーを組み合わせて特定のグループの要件を管理する論理グループです。

グループまたは組織は、複数の VDC、イメージ、テンプレート、およびポリシーを管理できます。組織は個々のグループに VDC レベルでクォータを割り当て、リソース制限を割り当てることができます。

また、VDC に固有の承認者を定義できます。特定の VDC に割り当てられた承認者は、ユーザからの VM プロビジョニング サービス要求をすべて承認する必要があります。



(注) Cisco UCS Director にはデフォルト VDC があり、検出された VM はすべてこのデフォルト VDC に属します。検出された VM は、Cisco UCS Director の外部で作成された VM か、または Cisco UCS Director がインストールされる前に VMware vCenter ですでに作成されていた VM です。Cisco UCS Director はこのような VM を自動的に検出し、デフォルト VDC に追加します。

サービス要求を使用してプロビジョニングされた VM を特定の VDC に関連付けることができます。サービス要求を作成するときに、この VM をプロビジョニングする VDC を選択できます。VM のプロビジョニング時には、特定のグループで利用可能な VDC のリストを表示し、必要な VDC を選択できます。

VDC アクション

仮想データセンターの追加

- ステップ 1** メニューバーで、[ポリシー (Policies)] [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] > > を選択します。
- ステップ 2** [VDC] タブを選択します。
- ステップ 3** [追加 (Add)] (+) をクリックします。
- ステップ 4** [VDC の追加 (VDC Add)] ダイアログボックスで、ドロップダウンリストからアカウントタイプを選択します。
選択したアカウントタイプによって、[VDC の追加 (Add VDC)] ダイアログボックスに表示されるクラウド名のリストが決定されます。
- ステップ 5** [送信 (Submit)] をクリックします。
- ステップ 6** [VDC の追加 (Add VDC)] ダイアログボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[VDC 名 (VDC Name)] フィールド	VDC の名前。 次のような特殊文字を使用できます。().& -_`~\$%^{}!'@ (注) 入力後、名前は編集できません。
[ロック済みの vDC (VDC Locked)] チェックボックス	今後の導入でVDCを使用できないようにするには、このチェックボックスをオンにします。今後の導入でVDCを使用できるようにするには、このチェックボックスをオフにします。
[vDC の説明 (VDC Description)] フィールド	VDC に固有の説明。
[グループ (Group)] ドロップダウンリスト	[選択 (Select)] をクリックして、VDC がセットアップされるグループのチェックボックスをオンにします。
[クラウド名 (Cloud Name)] ドロップダウンリスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。 このドロップダウンリストで選択可能なオプションは、指定したアカウントタイプによって決まります。
承認者と連絡先	

名前	説明
[第1レベル承認者 (First Level Approver(s))] フィールド	第1レベルでサービス リクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)] をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2レベル承認者 (Second Level Approver(s))] フィールド	第2レベルでサービス リクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)] をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービス リクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービス リクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス (Provider Support Email Address)] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。このVDCを使用したVMのプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー (Copy Notifications to Email Address)] フィールド	このVDCに関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メールアドレス。
ポリシー	
[システム ポリシー (System Policy)] ドロップダウン リスト	VDCに適用できるシステムポリシーを選択します。
[コンピューティング ポリシー (Computing Policy)] ドロップダウン リスト	VDCに適用できるコンピューティング ポリシーを選択します。

名前	説明
[ネットワーク ポリシー (Network Policy)] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるネットワーク ポリシーを選択します。
[ストレージポリシー (Storage Policy)] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるストレージ ポリシーを選択します。
[ISO イメージマッピングポリシー (ISO Image Mapping Policy)] ドロップダウン リスト	VDC に適用する ISO イメージのマッピング ポリシーを選択します。
[コストモデル (Cost Model)] ドロップダウン リスト	VDC に適用できるコスト モデルを選択します。
[サービス リクエストサマリーと電子メールページへのコストの表示を無効化 (Disable displaying cost in the SR summary and email page)] チェック ボックス	この VDC の SR サマリーと電子メール ページでのコストの表示を無効にするには、このチェック ボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー (User Action Policy)] ドロップダウン リスト	VM のプロビジョニング後のオーケストレーション ワークフローを実行するために使用するポリシーを選択します。選択されたワークフローは、VDC 内の VM に対するアクション ボタンとして表示されます。
[VM 管理ポリシー (VM Management Policy)] ドロップダウン リスト	VDC の VM 管理ポリシーを設定します。 このポリシーは、VDC で VM を管理する方法を定義します。
[ストレージの効率性の有効化 (Enable Storage Efficiency)] チェック ボックス	RCU を使用して VM を複製する場合は、チェック ボックスをオンにします。 このオプションは、一部の VDC タイプでのみ使用できます。

名前	説明
エンド ユーザ セルフサービス ポリシー	<p>VDC のセルフサービス ポリシーを選択します。このポリシーによって、VDC で実行できるタスクまたはアクションが定義されます。</p> <p>(注) このドロップダウンリストには、作成する VDC に対応するアカウントタイプに関連するポリシーが表示されます。</p> <p>ユーザが VDC で実行できるタスクは、ユーザがマッピングされたロールと、VDC に割り当てられたエンド ユーザのセルフサービスポリシーによって定義されます。最新リリースにアップグレードしている場合、VM 管理タスクを実行する権限は、いずれかの既存のエンド ユーザのセルフサービス ポリシーに保持されます。ただし、ユーザが属するユーザ ロールに定義されている権限が優先されます。</p>

ステップ 7 [追加 (Add)] をクリックします。

(注) VM のユーザは、次のタスクを実行できなくなりました。

- VM の移行
- スタック ビューの使用
- VM の割り当て

次の作業

追加した VDC は、ユーザ インターフェイスのオプションを選択して編集、複製、または削除できます。

仮想データセンターの表示

ステップ 1 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] > > を選択します。

ステップ 2 [すべてのユーザ グループ (All User Groups)] ペインで、表示したい VDC を含む VDC グループを選択します。

- ステップ3 [VDC] タブを選択します。
 - ステップ4 メインの表示ペインで、表示する VDC を選択します。
 - ステップ5 [表示 (View)] をクリックして、[VDC の詳細 (VDC Details)] ページを開きます。
-

仮想データセンターのアプリケーションカテゴリの管理

- ステップ1 メニューバーで、[ポリシー (Policies)] > [仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] > [仮想データセンター (Virtual Data Centers)] > > を選択します。
 - ステップ2 [すべてのユーザグループ (All User Groups)] ペインで、VDC が含まれている VDC グループを選択します。
 - ステップ3 [VDC] タブを選択します。
 - ステップ4 メインの表示ペインで、編集する VDC を選択します。
 - ステップ5 [カテゴリの管理 (Manage Categories)] をクリックします。
 - ステップ6 [アプリケーションカテゴリの編集 (Edit App Category)] ダイアログボックスで、システムポリシー、コンピューティングポリシー、ネットワークポリシー、またはストレージポリシーの変更を適用するために該当するフィールドをすべて編集します。コストモデルとスマート割り当てポリシーも変更できます。
 - ステップ7 [保存 (Save)] をクリックします。
-

複数の VDC へのアプリケーションカテゴリの割り当て

複数の VDC にアプリケーションカテゴリを割り当てることができます。

- ステップ1 メニューバーで、[仮想 (Virtual)] > [コンピューティング (Compute)] の順に選択します。
- ステップ2 VMware クラウドを選択します。
- ステップ3 [アプリケーションカテゴリ (Application Categories)] タブを選択します。
- ステップ4 アプリケーションカテゴリを選択し、[アプリケーションカテゴリの割り当て (Assign App Category)] を選択します。
- ステップ5 [アプリケーションカテゴリの割り当て (Assign Application Category)] ダイアログボックスで、[+] をクリックして、複数の vDC にポリシーをマッピングします。
[アプリケーションカテゴリ割り当て (Assign Application Category)] ダイアログボックスで、VDC の前に割り当てられているすべてのアプリケーションカテゴリを表示します。割り当てられたアプリケーションカテゴリを選択し、VDC から編集、削除できます。

ステップ 6 [複数の VDC にポリシーを割り当てるエントリを追加 (Add Entry to Map Policies to Multiple VDCs)] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
ポリシー	
[システム ポリシー (System Policy)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからシステム ポリシーを選択します。
[コンピューティング ポリシー (Computing Policy)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからコンピューティング ポリシーを選択します。
[ストレージ ポリシー (Storage Policy)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからストレージ ポリシーを選択します。
[スマート割り当てポリシー (Smart Allocation Policy)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからスマート割り当てポリシーを選択します。
[ネットワーク ポリシー (Network Policy)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからネットワーク ポリシーを選択します。
[コストモデル (Cost Model)] ドロップダウン リスト	ドロップダウン リストからコスト モデルを選択します。 クラウドのすべてのコスト モデルは、このドロップダウン リストに表示されます。
vDC	
[vDC の選択 (Select vDCs)] フィールド	[選択 (Select)] をクリックして、ポリシーをマッピングする vDC のチェック ボックスをオンにします。 (注) 選択したクラウドに含まれる vDC が表示されます。 選択した vDC に既にマッピングされたポリシーがある場合、警告メッセージが表示されます。
[マッピングされた VDC にポリシーを上書きする (Overwrite policies for mapped VDCs)] チェック ボックス	選択した vDC にマップされているポリシーを上書きするには、このチェック ボックスをオンにします。

ステップ7 [送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ8 [アプリケーションカテゴリの割り当て (Assign Application Category)] ダイアログ ボックスで、[送信 (Submit)] をクリックします。

ステップ9 [OK] をクリックします。

仮想データセンター サービス プロファイル

仮想データセンター サービス プロファイルは VDC に似ています。ただし、VDC サービス プロファイルを作成する必要があるのは、ゴールド、シルバー、およびブロンズの VDC などのワークフロー タスクから VDC を作成する場合だけです。

仮想データセンター サービス プロファイルの追加

ステップ1 メニュー バーで、[ポリシー (Policies)] [[仮想/ハイパーバイザポリシー (Virtual/Hypervisor Policies)] [[仮想データセンター (Virtual Data Centers)]]> > を選択します。

ステップ2 [vDC サービスプロファイル (VDC Service Profile)] タブを選択します。

ステップ3 [追加 (Add)] (+) をクリックします。

ステップ4 [vDC サービスプロファイルの追加 (Add VDC Service Profile)] ダイアログ ボックスで、次のフィールドに値を入力します。

名前	説明
[vDC プロファイル名 (VDC Profile Name)] フィールド	VDC プロファイルの名前。 入力後、名前は編集できません。
[ロック済みの vDC (VDC Locked)] チェック ボックス	今後の導入で VDC を使用できないようにするには、このチェック ボックスをオンにします。この VDC 内の既存の VM に対するアクションは無効になります。今後の導入で VDC を使用できるようにするには、このチェック ボックスをオフにします。
[vDC の説明 (VDC Description)] フィールド	VDC に固有の説明。
[グループ (Group)] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象グループを選択します。
[クラウド名 (Cloud Name)] ドロップダウン リスト	VDC の設定対象クラウドを選択します。

名前	説明
承認者と連絡先	
[第1承認者のユーザ名 (First Approver User Name)] フィールド	第1レベルでサービス リクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)] をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[第2承認担当者のユーザ名 (Second Approver User Name)] フィールド	第2レベルでサービス リクエストを承認する必要があるユーザ。 [選択 (Select)] をクリックして、該当するユーザのチェック ボックスをオンにします。複数のユーザを選択できます。
[すべてのユーザからの承認が必要 (Approval Required from all users)] チェック ボックス	第1レベルおよび第2レベルの承認担当者として選択されたすべてのユーザからの承認を必要とする場合は、このチェック ボックスをオンにします。
[承認依頼通知の数 (Number of Approval Requests Reminders)] フィールド	サービス リクエストを承認するよう通知する電子メールを承認担当者に送信する回数。 デフォルトでは、サービス リクエストが承認または拒否されるまで、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[通知間隔 (時間) (Reminder Interval (Hours))] フィールド	承認担当者に通知電子メールを送信する時間間隔。 デフォルトでは、24時間ごとに1回通知電子メールを送信します。
[プロバイダーのサポート用電子メールアドレス (Provider Support Email Address)] フィールド	連絡先またはユーザの電子メールアドレス。このVDCを使用したVMのプロビジョニングに関する通知を受信するユーザ。
[電子メールアドレスへの通知をコピー (Copy Notifications to Email Address)] フィールド	このVDCに関する通知をコピーする2番目の連絡先の電子メール。
ポリシー	
[システムポリシー (System Policy)] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるシステムポリシーを選択します。

名前	説明
[コンピューティングポリシー (Computing Policy)] ドロップダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるコンピューティング ポリシーを選択します。
[ネットワーク ポリシー (Network Policy)] ドロップ ダウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるネットワーク ポリシーを選択します。
[ストレージポリシー (Storage Policy)] ドロップダ ウン リスト	VDC サービス プロファイルに適用できるストレ ージ ポリシーを選択します。
[コストモデル (Cost Model)] ドロップダウンリス ト	VDC サービス プロファイルに適用できるコストモ デルを選択します。
[サービス リクエストサマリーと電子メールページ へのコストの表示を無効化 (Disable displaying cost in the SR summary and email page)] チェック ボック ス	この VDC のサービス リクエスト サマリーと電子 メールページでのコストの表示を無効にするには、 このチェック ボックスをオンにします。
[ユーザアクションポリシー (User Action Policy)] ドロップダウン リスト	VM のプロビジョニング後のオーケストレーション ワークフローを実行するために使用するポリシーを 選択します。選択されたワークフローは、VDC 内 の VM に対するアクション ボタンとして表示され ます。
エンド ユーザ セルフサービス オプション	
[VM の電力管理 (VM Power Management)] チェック ボックス	この VDC に属している VM に対してすべての VM 電源管理アクションを実行できるようにするには、 このチェック ボックスをオンにします。
[VM のサイズ変更 (VM Resize)] チェック ボック ス	この VDC に属している VM に対して VM サイズ変 更アクションを実行できるようにするには、この チェック ボックスをオンにします。
[VM スナップショット管理 (VM Snapshot Management)] チェック ボックス	この VDC の VM に対してすべてのストレージス ナップショットアクションを実行できるようにす るには、このチェック ボックスをオンにします。
[VM の削除 (VM Deletion)] チェック ボックス	この VDC の VM に対して VM 削除アクションを実 行できるようにするには、このチェック ボックス をオンにします。

名前	説明
[VM ディスク管理 (VM Disk Management)] チェック ボックス	この VDC の VM に対して VM ディスク管理を実行できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。
[VM ネットワーク管理 (VM Network Management)] チェック ボックス	この VDC に属している VM に対してネットワーク管理を実行できるようにするには、このチェック ボックスをオンにします。
[非アクティブな VM を削除するまでの期間 (Delete after Inactive VM days)] ドロップダウン リスト	非アクティブな VM を削除するまでの、非アクティブな状態の経過日数を選択します。非アクティブ状態の VM とは、電源がオンの状態ではない VM です。

ステップ 5 [追加 (Add)] をクリックします。
